

令和5年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立医療保健センター分室(豊能広域こども急病センター)
指定管理者	一般財団法人 箕面市医療保健センター
指定期間	令和3年度～令和12年度
施設概要	豊能医療圏における夜間・休日の小児科一次救急診療を実施
市支出額	18,142,654円 (負担者：箕面市 1/2、他の3市2町 1/2)

2. 事業の実施状況 (期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日)

小児の急病患者の診療に関する事業	366日診療、患者総数26,879人(73.4人/日)
施設、附属設備等の維持管理業務	維持管理業務は業務委託
医療機器等の設置及び保守管理業務	医療機器はリース設置、保守管理業務は委託
経営の改善	◆インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症流行による患者数の増加及びコロナ診療における診療報酬の特例加算により、医業収益は大きく改善した。
顧客利便性の改善	◆新型コロナの感染症の5類感染症への移行(令和5年5月8日から)により、通常診療体制となる(コロナ陽性者は、これまで大阪府コロナ陽性者24時間緊急サポートセンターで対応)。 ◆新型コロナ感染症等の迅速検査を土日祝日に加え平日も実施。 ◆施設内での感染防止策を強化するため、クリーンパーテーション(空気清浄機)の使用を昨年度より継続。

3. 利用者の満足度

(1) 利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	実施期間 令和6年6月24日～7月15日 配付件数 650件 回収件数 643件 回収率 98.9%
-------------------	---

(2) 利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	
-------------------	--

(3) 利用者からの意見を反映させる取り組み

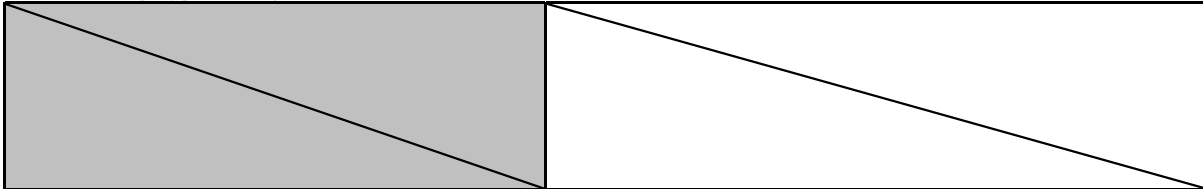
取り組みの実施状況	<p>①日常的取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノート等を活用し、利用者意見や気づきなどを現場と事務局で共有し、看護師長、事務局で意見交換の上、比較的軽易なものについては即時に反映させる。 <p>②例月の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全看護師長と事務局、薬剤師、事務受付等の代表者としてミーティングを実施し、利用者意見や現場からの意見、提案等を共有、検討し業務に反映させる。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の診療に関すること等に関しては、阪大、医師会、構成市立病院等の代表者で構成する協議体において検討し業務に反映させる。
------------------	---

4. 収支状況

収 入 [*]	485,461,924円	(前年度 438,304,431円)
支 出	485,461,924円	(前年度 438,304,431円)
収支差	0円	

※収入額には4市2町負担金18,142,654円を含む

5. 特別提案の状況



6. 指定管理者の自己評価

- ◆豊能医療圏における24時間切れ目のない小児一次救急診療を実現するため、地域の医療機関と連携し、当センターの役割である平日夜間・休日の救急診療を途切らすことなく担うことができた。
- ◆豊能医療圏内の医師会、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター等の小児科医の協力により、必要な医師数が確保できた。
- ◆利用者アンケートにおいて、当センターの医療スタッフ、施設機能、施設環境に対する評価は、今年度も「概ね満足」以上の評価が多数ありました。
- ◆令和6年度から始まる医師の働き方改革の影響（勤務医の出務時間の減少）を想定し、豊能医療圏内の医師の掘り起こしや新たな医師供給元の開拓に努めました。